

【環境・健康建材コーナー】

小松電機産業

業界最高速上昇 3 m/s の新型「門番Gシリーズ」
新発売、中国・韓国など中心に海外展開を本格化

高速シートシャッターのリーディングカンパニー・小松電機産業（小松昭夫社長）は、6月から新型「門番Gシリーズ」（パイプレス構造）の発売を開始した。

「門番Gシリーズ」は、シート上昇速度・業界最速の 3 m/s を実現したほか、従来品にくらべて気密性を18倍もアップし、群を抜く防虫・防塵・省エネ効果を発揮する。



シャッター下端部にクッションを内蔵、万一の接触にも万全の安全設計

トップブランドとして高い信頼をえている現行商品の中間パイプ付「KVシリーズ」に、パイプレス「Gシリーズ」をラインナップすることで、工場・倉庫などのあらゆるシーンに応じた最適な商品提案ができるようになった。開口幅3.5メートル以上を「KVシリーズ」、それ以下を「Gシリーズ」の使い分けをかんがえている。

さらに、小松社長の「高品質で価値のある製品を国内にとどまらず、中国や韓国をはじめアジア全域に提供したい」との思いもあり、今回の「門番Gシ

リーズ」の発売にあわせて、韓国・ソウルに拠点を開設した。アジアを中心とした海外販売ネットワークの拡大をいそぎ、世界のトップブランドへの道に踏みだした。

従来品比約18倍の高気密性を実現、フレームに自動注油機構を組み込む新機構で自動復帰に伴う課題を改善

商品を見ていくと、従来品比約18倍もの高気密性は、パイプレス構造にエアタイトシールを取り付けることで実現された。サイドフレームや巻取りボックスからの空気の流入、埃や虫の侵入をふせぎ、室内環境を清潔に保つことができる。また、シートが接触しない構造で耐久性もアップした。

安全面では、下降中に光電管センサーや動作異常を検知すると一旦停止し中速（1.5m/s）で反転上昇。シートに当たるとすぐに停止し低速（0.5m/s）で反転上昇する。万一が接触した場合もシート下端に柔らかなクッションを内蔵しており安全だ。

また、パイプレスの特長である自動復帰では、ファスナーへの自動注油機構をフレームに組み込む新機構の採用により、フレーム破損・ファスナーのコマ割れなどの課題を抜本的に改善しスムーズな開閉と耐久性を向上させている。これにより事故



時の開放時間をなくし、メンテナンス費用を抑えることが可能になった。

クリーンな環境を求めるニーズに最適な商品
高い省エネ効果も魅力

同社は「STOP地球温暖化」を掲げて省エネ対策には殊のほか力をそそいでいる。「Gシリーズ」の高気密仕様・ECO運転・起動センサーEタイプ「GF10型」は、同社試算でスチールシャッター（間口4m×4m）と比較すると、年間電気料金が約145万削減できると算定している。排出CO₂換算で26784kgに相当する。

こうした高い気密性・安全性、防虫・防塵効果を備え、小型化に適し施工も簡易になっていることを生かして、精密機器や液晶パネル、電子機器、食品製造などのクリーンな環境をもとめるニーズの新設・取替需要にこたえていく考えだ。

規格はGF05～20までの4タイプ。高さ1～4.5メートル、幅0.8～4.5メートル。価格は間口3メートル四方タイプで90万円（工事費別）。

月刊 建材 ナビ

特集 狭小地に対応した機能門柱・門扉・フェンスの新提案で活性化をねらう
ガーデンエクステリア
特集 新たなフォルムの追求、耐積雪・耐強風
対応の高強度化をすすめる
住宅用カーポート市場



7月号
No.140